
暗闇の心/沖神

いとり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

暗闇の心／沖神

【Nコード】

N0784J

【作者名】

いとり

【あらすじ】

君を泣かせるしか、俺には出来ないんだ……

いつもはサボる見回りを、今日は真面目にしていた。

別に理由などはなく、ただ“なんとなく”だった。

いつ来ても賑やかな町中。

人通りも、なんだかせわしく感じる。

その中にポツンと見える、見覚えのある傘。

―…あの傘…。

人通りの中でちらつく、赤い服に淡い桃色の髪。

—…あいつ、か。

周りにはいつもの奴らは居らず、彼女1人だけだった。

段々彼女との距離が短くなる。

彼女はどうかやら何かを探しているようで、必死に周りを見渡していた。

—…何、探してんだ？

そして、彼女と目が合った。

「サド！」

そう言って、彼女が自分の方に駆け寄って来た。

愛称を呼ばれて驚く。

いつもなら、目が合うと直ぐに嫌な顔をして逃げるのに、今日は彼女から話し掛けて来たのだ。

「……何ですかイ？」

少しぎこちない声。

そしてなぜか、鼓動が速くなっていた。

「銀ちゃん、見なかったアルか？」

「……。」

—…また。

彼女が住み込みで働いている『万事屋』。

その主が彼女の探しているものだった。

「オイ、聞いてるアルか？」

「…今日は、まだ見ていませんねィ。」

—…どうしてだ？

彼女を見ると、苛ついてしまう自分がいる。

それは決まって、彼女が彼と関わっている時だった。

自分とは全く違う態度を彼にとる彼女。

自分が見た事のない、彼女の顔を良く知っている彼。

ふとそんな事を思うと、いつも決まって苛立ち、胸のあたりが苦しくなると、息も上手く出来なくなる。

—…一体、俺はどうしたのだろうか。

「…チツ、使えない奴アルな。もう、お前には用がないアル。じゃーな。」

立ち去ろうとする彼女の腕を掴む。

「!…何するネ、離すヨロシ!」

ブンブンと掴まれた腕を振る彼女。

「…そんなに、旦那の事が気になるんですかい?」

「…………え?」

そう聞くと、彼女はピタリと動くのを止め、顔を赤らめた。

―…何、それ。

何でそんな顔すんの？

「ベッ…、別にお前には関係ないアル。」

「…あんだ、分かんないんですかい？」

「は？」

―…ああ、ほら、また苛々する。

だから、俺は…―

「あんたは旦那の事、好きかもしれないけど、旦那はあんたの事なんて、何とも思っていないでさア。」

「……………」

彼女を傷つける。

酷い言葉を並べて…。

でも、そうすれば……

「あんだ、相手にされてないですぜイ。」

ふるふると、小さく体を震わせる彼女。

「……ッ何でそんな事、お前に言われなきゃいけないネ！分かって
いるような事言うなヨ！！」

キッと睨む、涙を浮かべた彼女の碧く、大きな瞳。

そうやって、君を傷つければ……、

君は俺だけを、その目で捉えてくれるでしょう？

「お前みないな奴に銀ちゃんの何が分かるネ！お前なんて……」

彼女がこれから言おうとする言葉が怖かった。

だから俺は……

彼女がその言葉を言わないように、小さな彼女の口を塞いだ。

まだ、町には行き交う人々。

騒がしい筈なのに、その間だけは、時間が止まったように感じた。

小さな音を立てながら、ゆっくりと離れる2つの唇。

目の前には呆然として、次々と涙を流す彼女。

「…ざまあみろイ。」

そう吐き捨てて、その場から逃げるように立ち去った。

―…最低な奴だ、俺は。

まだ彼女の感触が残る唇を、手で拭う。

自分でも、ちゃんと分かっている。

彼女は彼が好きで、俺が嫌いだって。

でも、いざとなると、受け入れたくないという衝動に駆られる。

未だに自分の気持ちが整理出来ずにいた。

こんな想いは初めてだから…。

この苛立ちも、この苦しみも。

だから、“君を大切にしたい”という想いに反して、俺は君を傷つけ、泣かせる事しか出来ないんだ…。

—…俺は、どうしようもない馬鹿だ。

彼女を傷付けてから気付く、彼女を想う、本当の気持ち。

…けれども君は、その大きな瞳に俺を写してはくれないだろう。

暗
闇
の
心

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0784j/>

暗闇の心/沖神

2010年10月9日23時08分発行